

2007 年度

科目名 日本語学講読 I	対象学科・学年 文学部日文 2 回生	担当者 宇都宮 啓吾	
授業テーマ 古典籍を分析する。			
授業の概要と目標 古典籍の影印本や活字本を利用して、そこから様々な文化史的な事象や言語事象を読み解いていく作業を行ないます。			
評価方法 レポートと平常点（全講義数の 2/3 以上の出席が前提）で総合的に評価します。 レポートは E-mail (utunomk@osaka-ohtani.ac.jp 件名：【日本語学講読レポート】）で提出すること。			
テキスト 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。	著者	出版社	
参考書 特に指定しません。適宜、紹介します。	著者	出版社	
授業スケジュール・内容			
	時間	テーマ	補足
導入	1	オリエンテーション	
講義①	2	平家納経を巡る問題	平家納経の見返絵作成の背景と当時における『源氏物語』受容の問題について
	3	—『源氏物語』—	
	4	発心集の成立を巡る問題	発心集の記述を日本語学の視点から分析する。
	5		
講義②	6	枕草子を巡る問題	枕草子の記述を手懸かりに、当時の言語を分析する。
	7		
	8	徒然草を巡る問題	枕草子の記述を手懸かりに、当時の言語を分析する。
	9		
講義③	10	その他の文献を巡る問題	平家物語・抄物・大正期の新聞等を対象とした言語の分析を行なう。
	11		
	12		
	13		
まとめ	14		
	15	講義全体の総括	講義の総括